



パンフレット AP107
2003年5月作成
工業用

インジゴデニム用フィックス剤

センカアイフィックス54

インジゴデニムは通常、インジゴ染料をアルカリ還元剤で溶解吸尽させ、酸化工程により不溶化させて染着させている。そのため染料は表面にとどまり（芯白染色）、洗濯堅牢度は非常に悪く、表面染着した染料は洗濯時に多量に脱落汚染するため、白物やカラー物など他の繊維製品との洗濯は不可とされてきた。さらに、インジゴ染料は反応染料のように反応基（極性）がないため、フィックス剤の効果が期待できず、堅牢度を向上させる方法として、ラテックス、アクリルエマルジョン、ウレタンなどの樹脂により、染料を抱合する方法が取られてきた。

センカアイフィックス54は、パッド・ベーキング法および浸漬法で処理することができるインジゴ用フィックス剤です。

性質・性状

外観	黄色透明液体
成分	カチオン化樹脂のエポキシ変成物
イオン性	カチオン
pH	約3.5（原液）
溶解性	任意の水に溶解します。

特徴

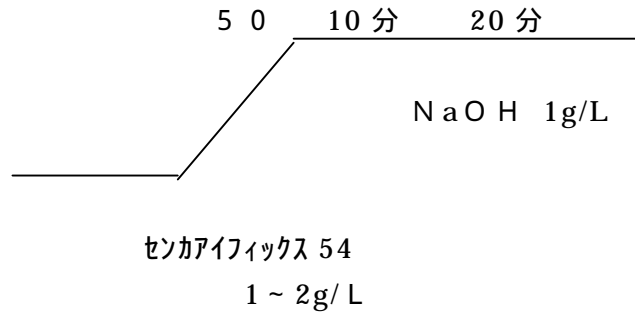
1. インジゴデニムに処理することで、洗濯による色落ちが非常に少なくなります。
2. パッド・ベーキング法、浸漬法とも加工が可能で、反物、製品加工に応用できます。
3. 加工後の色相は青味で鮮明となります。
4. インジゴデニムに直接染料、反応染料、硫化染料等をトッピング加工したものに処理することで、トッピングした染料のフィックス効果も期待できます。



1) 製品加工

前処理：湯洗いまたは糊抜き処理、バイオ処理、トッピング

フィックス処理：



水洗 酸中和
酢酸 0.5 ~ 1g/L

ソーピング (50 × 5分) 水洗
センカノール A-300N 2g/L

ご注意

1. センカアイフィックス 54 処理後は、センカノール A - 300N で中和処理して下さい。センカアイフィックス 54 未反応物が残留していると、洗濯時に脱落したインジゴを吸着し製品が汚染されます。

2) 反物加工

糊抜き、湯洗い後

フィックス処理：

〔センカアイフィックス 54 30 ~ 50 g/L
NaOH 3 ~ 5 g/L〕

工程：Pad Dry Cure 酸中和
Pick up 70% 100 140 × 3分 酢酸 0.5 ~ 1g/L

ソーピング (50 × 5分) 水洗
センカノール A-300N 2g/L



ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

1 8 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所 (5 ~ 3 5) で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート (M S D S)」を用意しております。併せてご活用下さい。